

=====
ふくしま

2014. 9. 9

復興支援フォーラムニュース No. 75

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 (tkonno67@gmail.com)
=====

老人福祉施設における避難及び復興に取り組む現在の課題

高木 健

(福島県社会福祉協議会老人福祉施設協議会復興委員会事務局長・
デイサービスセンターゆずのさと施設長)

1. 自己紹介
2. 東日本大震災「その時、デイサービスセンターゆずのさととは」
3. 福島第一原子力発電所と政府の対応
4. 避難した施設の状況
 - ◆サンライトおおくま
 - ◆せんだん
 - ◆館山荘
 - ◆オンフル
5. 施設が災害時に必要な物について
6. 福島県相双地域等介護職員応援事業について
7. 福島県老人福祉施設協議会災害時相互応援協定について
8. 福島県相双地域の特別養護老人ホームの入所待機者数について
9. 福島県相双地域の再開を目指す特別養護老人ホームについて
10. 介護職員の不足及び対策について

第72回ふくしま復興支援フォーラムでのご意見等

8月21日、第72回ふくしま復興支援フォーラムを開催しました。

遠藤智氏（広野町長）から「広野町の被害の状況と復興の課題」をテーマに報告をいただきました。42人が参加、活発な質疑応答がなされましたが、会場で提出されたご意見(感想)等は、以下の通りです。

~~~~~

- ★ 町長の謙虚な人柄と、広野町の地理的、社会的立地かとそこから生じる果たすべき役割を正面から受け止められている問題意識を感じた。住民との間で問題意識を共有し、理解を得るのは、困難を伴う道のりであると思うが、ご健闘を祈ります。(D.Y)
- ★ むしろ、作業員の町として、生きることを考えたらどうか。(Y.M)
- ★ 避難した住民が戻ることの難しさが、良く分かりました。ありがとうございました。(K.S)
- ★ 貴重なお話、どうもありがとうございました。とても重たい課題です。気が遠くなりそうです。くれぐれもお体を大切にしてください。(M.K)
- ★ 以前からの高齢化が、震災後さらに拍車がかかっている現状がうかがえ、公営住宅の計画に高齢者向け住宅、特老施設の増設が必要と考えます。(M.T)
- ★ 報告を聞いて改めて広野町の復興の難しさを実感しました。山積する諸問題を住民コンセンサスを得ながら同時進行で解決することの大変さを、話から感じました。(K.K)
- ★ 町長の考えが良く理解できた。(T.S)
- ★ 作業員の町になるのではという悩み、しかし原発収束は欠かせない。その中で住民の帰還に努めなければならない、その間で悩む自治体の現状を痛感した。(N.T)
- ★ 双葉郡の拠点としてのまちづくりを進められる事、理解しました。また30km圏内でも、北の南相馬市などと、状況や課題が少し違っている事が実感しました。(Y.M)
- ★ ①放射能汚染の状況、除染作業に伴う諸課題には、ほとんど触れられなかったが、問題としては、あまり重大ではなかったということであろうか。②双葉8町村の中での広野町の特徴、位置、檜葉、大熊等の対比を検討する手掛かりを出していただけただけなら有難かった。③双葉8町村の報告がほぼ一巡し、全体像が（時間の経過もあって）少し見えてきたように思われる。有益な報告が出揃ったという感が強い。(S.I)
- ★ 特に子ども達に対するメッセージの強さが印象的だった。双葉や引いては福島に生まれ育った方々がどこまで行っても胸を張って、故郷のことを話せる日が一日も早く来ることを願っています。(D.T)
- ★ 職員数76名とは驚きました。皆さまのご苦労いかばかりかと推察します。(A.T)
- ★ 行事が重ならない限り、参加させていただきます。(H.K)
- ★ 町長のお話は大変分かり易く、広野町のおかれている状況が、良く理解できました。個人的には檜葉、川内と共同事業ができればいいのではないかと思います。(K.T)
- ★ 2012年3月に避難指示が解除され、現在避難されている方々が、“自主避難”であるという現状からのまちづくりの方向性を考えていかなければならない状況について考えました。その一方で、“作業員”の拠点という側面については、自治体の課題として考えていかなければならないのだろうか（実態ということはあるのだろうが）との思いももった。(M.K)
- ★ 幸せな帰町・復興に向けての国際シンポジウムの内容が、非常に気になります。町民は、家族、住民と向き合い、心を通わせようとする姿勢が印象的だった。(H.S)

★ 町の職員の方々が置かれた職務環境の厳しさにはショックを受けました。／中高一貫校の開校は、広野町以外の町村の復興に向けての希望となる出来事だと思います。コミュニティの再建に向けて教育が担う役割はとても大きいはずですが、その学校でしかできないような教育プログラムを通じて、そうした役割が果たせるのではないかと考えました。(R.T)

★ 広野町を自治体として守るのか、人々の故郷(古里)として守っていくのか?安心して暮らせるまちづくりを進めるためには、医療・福祉・介護サービスの充実も重要であるが、その部分について、今後の展望について、詳しくご説明がなかったことが気になる。(E.K)

★ 若く誠実そうな町長さんに好感を持ちました。農業の復興に力を入れるという事で、若い就農者の支援に期待しています。町の職員の士気が上がらないとの事で、農業の抜本的な改革を通して元気な自治体を目指して欲しく思いました。(Y.I)

★ 中高一貫校のところで、「心ひとつになってやっていくことが肝心」といった趣旨のことを話していたが、これはどの点でもあてはまると思った。中高一貫校は、初心を貫き、是非とも成功させて、子ども達のために役立って欲しい。(Y.I)

★ 原発廃炉作業員の住居と広野町の難しい立場について、あらたな気づきを頂けました。ありがとうございました。(K.O)

★ 復興に向けての様々な課題があること貴重なお話ありがとうございました。町職員の方々の重い負担は、他の市町村でも伺っていますが、復興事業の長期化の中で、負担の軽減化について、もっと一般に理解が深まり現実化して欲しいと思います。今回広野町のガイドブックを見せていただき、近い将来ぜひ観光に行きたいと思いました。広野町の復興を祈っています。(K.Y)

★ 避難指示が解除され、原発廃炉の前線基地である広野町が抱える課題を学ぶことができ、とても有意義でした。双葉八町村がおかれた状況の違いが印象に残りました。

★ 一旦避難すると、帰還することが難しい内容が理解できました。職員の疲労、御苦労に心がとても痛みました。作業員の確保は、とっても重要と考えられる。現在広野町が担い、そのことによって町も御苦労されていますが、今後、国の方針としても出していく方向でないと長期間は難しいと思われた。

~~~~~

【予告】第74回フォーラム 2014年9月18日(木) 18:30~20:30

「福島小さな町から始まったアート／土湯アラフドアートアニュアルの事例」
報告者：ユミソン氏(現代芸術家／アラフドアートアニュアル総合ディレクター)
会場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」
大活動室1 (MAXふくしま4F／福島市曾根田町1-18)

~~~~~

【予告】第75回フォーラム 2014年10月9日(木) 18:30~20:30

「過去の災害の経験から見えること」  
報告者：高木亨氏(福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任准教授)  
会場：福島市 市民活動サポートセンター A会議室  
(チェンバおおまち3F／福島市大町4-15)

~~~~~

【予告】第76回フォーラム 2014年10月23日(木) 18:30~20:30

「原発事故後のリスクコントロール教育実践から」

報告者：二瓶由美子氏(桜の聖母短期大学教授)

会場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」

大活動室1 (MAXふくしま4F/福島市曾根田町1-18)

~~~~~

【予告】第77回フォーラム 2014年11月6日(木) 18:30~20:30

「田村市の被災状況と復興の課題」

報告者：冨塚宥暎氏(田村市長)

会場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」

大活動室1 (MAXふくしま4F/福島市曾根田町1-18)

~~~~~

【予告】第78回フォーラム 2014年11月20日(木) 18:30~20:30

「医療側から見える医療体制の崩壊~いわき市在住一麻酔科医からの報告~」

報告者：洪浩彰氏(いわき麻酔と痛みのクリニック院長)

会場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」

大活動室1 (MAXふくしま4F/福島市曾根田町1-18)

~~~~~

【予告】第79回フォーラム 2014年12月2日(木) 18:30~20:30

「福島の子供たちに寄り添いながら」

報告者：本多環氏(福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授)

会場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」

大活動室1 (MAXふくしま4F/福島市曾根田町1-18)

~~~~~

【予告】第80回フォーラム 2014年12月18日(木) 18:30~20:30

「旧警戒区域復興への挑戦」

報告者：藤田大氏(株式会社鳥藤本店専務取締役)

会場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」

大活動室1 (MAXふくしま4F/福島市曾根田町1-18)

~~~~~

【予告】第81回フォーラム 2015年1月15日(木) 18:30~20:30

「新地町の被災の状況と復興の現段階」(仮題)

報告者：加藤憲郎氏(新地町長)

会場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」

大活動室1 (MAXふくしま4F/福島市曾根田町1-18)

~~~~~

【予告】第82回フォーラム 2015年1月29日(木) 18:30~20:30

「食と農でつなぐー福島・女性農業者の取り組み」

報告者：岩崎由美子氏(福島大学教授)

会場：福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」

大活動室1 (MAXふくしま4F/福島市曾根田町1-18)